

3087

山増電機製陶株式会社

YAMAMASU DENKI SEITO

事業所名	山増電機製陶株式会社	FAX番号	0561-82-4524
代表者名	加藤 拓也	Eメール	yamamasu.den@nifty.com
所在地	〒489-0872 瀬戸市水無瀬町191	ホームページ	http://www.yamamasu.com
連絡先	0561-82-5320	部会名	工業品部会

●あゆみ

- 1947年3月 設立
- 1961年 水無瀬工場完成
- 1971年 現在地に本社を移転
- 2003年 焼成炉を新設



山増電機製陶株式会社は碍子製造を目的として昭和22年に設立し、以来電力市場の成熟化とともに新しい分野への工業製品の展開を目指してきました。現在、碍子製造はもとより押出成形品、球状品の製造ノウハウを蓄積し、ニッチな市場の開拓を進めています。

昭和60年代には、製品の受注増に伴い生産ラインの自動化を進めるなど、立上げには非常に苦労しましたが、量産に対応したものづくりを行っていました。その後時代は移り変わり、製品の多品種化や短納期に対応するため、平成15年に迅速焼成用ファイバー炉を導入、よりフレキシブルな製品対応が可能になり、多孔質セラミックス製品など当社製品の幅が広がり、水処理などに利用されるようになりました。

当社はこれまでに高低圧碍子・コンクリートポール用品・化学工業における塔用充填材・触媒担体・石油精製用充填材・耐酸磁器レンガ・各種多孔体充填材などをメインとして製造を行ってきましたが、これからの製品の柱として新たな商品を開発すべく積極的に産官学連携を行っており、次項の取り組みをしてきました。

- 1.平成6年度より5年間、愛知産業技術研究所瀬戸窯業技術センターとともに水質浄化セラミックの開発を行ってきました。
- 2.平成16年度、科学技術交流財団の育成試験委託事業において浮遊性光触媒セラミックボールの開発を行いました。
- 3.平成19年度、20年度、経済産業局の2件の地域資源活用型委託事業において中部大学、産総研、愛知産業技術研究所、科学技術交流財団などと連携を密にして試作品の研究開発に取り組みました。この事業により大型シート成形品及び中空カラービーズの製造方法を確立しました。

今後、これらの開発製品が他社とのコラボにより大きく広がるよう製品をアピールして行くとともに、今まで手掛けてきたセラミックス多孔体の製造ノウハウを駆使してこれら多孔体の可能性を追求し製品化、商品化を目指して行きたいと思っております。

